

環境への影響

生きるために水が必要なのは人間だけでなく、西オーストラリア州の動植物も同じです。環境保護に積極的に取り組む西豪州環境保全協会（Conservation Council of WA）のお2人が、降水量減少による環境への影響と、環境を守るための水の供給、保護に対して西豪州政府がとるべき対応について語ってくれました。

よ
う
な
影
響
が
あ
り
ま
し
た
か
？
昨
年
の
降
水
量
不
足
で
環
境
に
は
ど
の
影
響
が
あ
り
ま
し
た
か
？

Chris氏
(以下C)

グナンガラ・マウンドでは大量の地下水を抽出しているため、ある地域では湿地帯が乾ききってしまいました。ヤンチャップ (Yanchep) にある地下洞では、地下水の水位が低くなったため、現在水を入れなおし、そこに住む生物を助けようという提案が出されています。

Steven氏
(以下S)

他には、河川の環境にも影響がありました。土が乾燥していたので、雨が降った時に土が雨を全て吸収してしまいました。そのため、ダムや川に雨水が流れるまでに通常以上の時間がかかり、河川に新しい水が流れ込まず、河川の水質が悪くなり、魚が死んでしまったりしました。



Conservation Council of WA
西豪州環境保全協会
Director
ディレクター
Chris Tallentire 氏



Conservation Council of WA
西豪州環境保全協会
Water Policy Officer
水資源政策担当
Steven McKiernan 氏

し
た
ら
良
い
と
思
い
ま
す
か
？
保
護
は
ど
の
よ
う
に
し
よ
う
に
？

C まず、パースの人々が降水量不足で一番気にかけるのがダムの貯水量だけで、現在約60%の水を供給している地下の帯水層の様子については簡単に知ることができないためか、ほとんど無関心であることが問題です。もし雨量が少なければ、ダムだけでなく帯水層の水も補充されません。パースの人々が、もっと簡単に情報を入手できる環境作りをすることが必要です。また、水の使用量は気温が高くなるにつれて多くなります。現在、1人あたりの水の使用量は、年間約175KLです。西豪州政府はこれを150KLまで減らすことを目標にしていますが、私たちは100KLまで減らさなければいけないと思っています。1番良い方法は、約50%の家庭の水が使われている庭の植物への散水を、個人単位で減らすことです。

S パースには、水を再利用できるまで十分に処理ができる大きな施設が少ないことも問題の1つです。水の再利用を最優先課題として取り組むことが必要だと思います。また、もう1つの問題は、飲み水としても使われている水が庭にも使われていることです。庭の植物には、処理された排水や飲み水より質の低い水が使われるべきです。雨水を貯めて、トイレなどに使うのも1つの節水方法です。

合
わ
せ
た
も
の
で
し
よ
う
か
？
政
府
の
現
在
の
対
応
は
、
環
境
保
護
に
合
わ
せ
た
も
の
で
し
よ
う
か
？

C 海水淡水化プラントを稼働させる電気を、環境に優しい風力発電で起こしているという点では良いと思います。しかし、浄水後に出る塩分濃度が非常に高い排水が環境へ与える影響には、憂慮しています。なので、プラントは最良の解決法ではないと考えています。

S 現在、地下水の使用量は、ダムの水の減少によって65～70%になっています。通常より更に深い部分から抽出しているので、水はとて熱く、私たちの飲み水になるまでの加工行程に、たくさんの労力が必要になります。ヤラガディー南西部の地下水をパースに運ぶという提案が現在ありますが、科学的な根拠のもと、私たちはその提案が周辺地域に及ぼす環境への影響を心配しています。

C 西豪州政府は、地下水はまた補充されると言っていますが、昨年のような雨量で、どうして補充できるのでしょうか。確信は持てないと思います。

S ですから、個人単位での水の節水や、水の再利用が大切だと思います。その方が、コストがかかりませんし、環境にも優しいからです。



バッセルトンの運河。大量の地下水の抽出により、水位が下がった部分に海水が流れ込んでいる。それにより地下水が人々の生活に使えなくなる恐れがある。
Photo courtesy of the Conservation Council of WA